

# あまがさき 市議会だより

Vol.148

令和6年(2024年)5月1日

発行:尼崎市議会  
編集:尼崎市議会だより編集委員会  
〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号  
☎06-6489-6112(議事課) ☎06-6489-6105  
✉ama-gkaidayori@city.amagasaki.hyogo.jp

市議会の情報はホームページで  
ご覧いただけます。

尼崎市議会

検索



1月1日に発生した令和6年能登半島地震への支援として、穴水町へ派遣した職員によるトイレトラックへの応急給水作業の様子

## 第19回定例会

# 令和6年度当初予算案を可決

第19回定例会は、2月21日から3月22日までの31日間の日程で開催しました。2月26日・27日及び28日に開会した常任委員会等では、令和5年度補正予算等について審査を行い、3月4日の本会議で採決を行いました。3月6日からは当初予算等に係る予算特別委員会を設置し、分科会及び総括質疑(全体会議)による審査を行った後、3月22日の本会議において当初予算案等はいずれも原案可決となりました。

(各議案の採決結果は7・8面に掲載)

## 目次

■代表質疑	2・3
■予算特別委員会(分科会審査)	4・5
■決算特別委員会意見に対する回答	6・7
■採決結果一覧表	7・8
■議員研修会を開催	8
■議会の動き	8
■編集後記	8
■次回定例会の予定	8

# 代表質疑

3月5日・6日の2日間、各会派の代表者7人が令和6年度当初予算案などに関して代表質疑を行いました。主な質疑と答弁の要旨は、次のとおりです。

## 当初予算審議の主な流れ

- ① 代表質疑
- ② 予算特別委員会 (分科会)
- ③ 予算特別委員会 (総括質疑)
- ④ 予算特別委員会 (各会派意見表明・採決)
- ⑤ 本会議 (採決)

### 公明党 前迫 直美



#### 就学前教育について

**問** 今後の市立幼稚園の在り方、私立幼稚園への関わり方について市長の考えはどうか。

**市長** 令和5年度の在籍数を見ると、私立幼稚園が4280人に対し市立幼稚園は380人であり、今後も私立幼稚園に本市の就学前の子供たちの保育を担ってもらう役割は大きい一方、市立幼稚園が本市における就学前教育の水準を示し、特別な支援が必要な子供の受入れなども支援する必要があると考えている。市立幼稚園が廃止される地域においても、公私を問わず質の高い教育が受けられるとともに入園しやすい環境を整備し、官民幼保が力を合わせ、就学前教育を推進していかなければならないと考えている。

#### その他の主な質疑

○働くも子育てでも応援するまちはどのようなものか。

○住み慣れた地域で安心・安全に暮らすために、本市の地域福祉はどのようなにあるべきか。

○兵庫県と協調し带状疱疹ワクチンの費用助成を実施すべきと考えるがどうか。

### 維新の会 別府 建一



#### あまがさき子ども子育てアクションプランについて

**問** 近隣市では子育てに対する経済的負担を軽減する政策が進んでいるが、本市の見解と実現への課題をどのように考えているのか。

**市長** 給食費や保育料の無償化には自治体の財政状況も踏まえた検討が必要であり、本市で実施するためには予算段階での収支均衡や適正な公債費水準等の財政運営方針に基づく考え方や、子育て支援策のきめ細やかさとの両立の可否のほか本当の意味での施策効果などの丁寧な研究・検討

が必要である。そのため、まずはあまがさき子ども・子育てアクションプランに盛り込んだ負担軽減策の実現を目標とし、少し長い視野で指摘の支援策の検討もしていきたい。

#### その他の主な質疑

○竹谷・長洲・小園の3幼稚園の廃園について、地元住民が納得するまで説明を行うべきではないか。

○北図書館移転整備の背景と、女性・勤労婦人センターや大井戸公園などを盛り込んだ検討過程、また未来像を日常に期待を持って暮らすまちとした背景は。

○暴力団事務所運営禁止の規制範囲を兵庫県が工業専用地域を指定しなかった中で、市が指定する理由は。

### 蒼風会 林 久博



#### 学びの多様な学校について

**問** 学びの多様な学校設置基

本方針を策定する際には不登校支援を行う活動団体や不登校経験の当事者等の声を反映すべきと考えるがどうか。

**教育長** 令和5年度は先進校視察や有識者からの意見を参考に在り方を検討してきたが、令和6年度は学びの多様な学校設置準備担当を立ち上げ、設置基本方針を策定する予定である。その策定に際しては、パブリックコメントを行い、

学校関係者・不登校支援の関係者・不登校経験の当事者をはじめ、市民の皆様からの幅広い意見も踏まえながら検討していく。

#### その他の主な質疑

○フリースクール利用者への補助金を兵庫県のガイドラインと相違のある本市独自基準で認定する施設のみを対象とするのはなぜか。

○学校開放運営委員会の1校当たり予算と事業内容は。また、現状に対する市の考え方や今後の方向性は。○避難所での女性に対する配慮をどのように考えているのか。



## 市民グリーン クラブ

綿瀬 和人



### 本市のビジョンについて

**問** 市長が思い描く本市の5年後、10年後のビジョンは。

**市長** 本市は日本の人口減少が進む中、立地競争力などの強みを発揮し持続可能な形で成長できる可能性を大いに有しており、10年後も一定の人口規模を保ち成長し続けることで地域福祉をはじめ社会的なつながりも維持される好循環を実現できたらよいと思っ

ている。今、本市には成長の波が訪れており、各分野における政策の方向性を基に、具体的な施策の実行・実現を通じて、この波に乗ってさらなる成長へと導いていけるよう努力していく。

### ■その他の主な質疑

○本市直営事業の縮小についての見解は。また、人材確保をどう進めていくのか。

○インクルーシブ教育推進の新たな取り組みは。誰もが一緒に育ち学べる教育を目指すべきではないか。

○業務委託を行う上で急激な物価高騰が発生した場合、市としての方針や対応が必要ではないか。

## 日本共産党 議員団

川崎 敏美



### 南武庫之荘保育所の 民間移管について

**問** 保育所の民間移管ルールを抜本的に改正する必要があるのではないか。

**市長** 南武庫之荘保育所の民間移管法人が川西市から改善勧告を受けたとの報道に関して不安と心配をかけていることをまずはおわびする。今回の事例を踏まえ、今後の公立保育所の民間移管に係る法人選定に当たり、応募法人が過去に受けた行政指導・行政処分の取り扱い、さらには選定の取消事由について他都市で

の取り扱い事例も参考にしながら早急に検討をしていく。

### ■その他の主な質疑

○戦争をする国づくりへの暴走に対する市長の考えは。

○給食の無償化を進める努力を行ってもらいたいと思うがどうか。

○体育館の断熱化・空調整備を進める計画を来年度にくる考えはないか。

## 青雲の会

波多 正文



### 市民意識の醸成と DXの推進について

**問** 市民が社会のコンプライアンスを大切にしながらポジティブになるには。また、本市の住みやすさを実現するためのDXの課題と成功のポイントをどう捉えているのか。

**市長** 市民の地元に対する自己肯定感の強さとコンプライアンスは大きく関連すると思っており、未来志向でまちづくりや子育て支援などの取り

組みを進め尼崎愛を高めることがコンプライアンス向上にもつながると考えている。DXでは、市民・事業者のニーズ把握を広くタイムリーに行うのは簡単ではないが、デジタル技術による収集・分析を市民サービスに反映し、住みやすさ実現のためにDXを推進する。なお、成功のポイントにはトップの取り組み方と考へており、幹部と共通意識を持ち旗振り役を担っていく。

### ■その他の主な質疑

○適正予算・適正事業に向けて、令和6年度予算編成で取り組んだことは何か。

○庁内の政策形成の実態をどう把握し、縦割り組織の弊害をどう思うのか。

○児童が自発的姿勢で話し合いを行う中で深い学びの教育につなげていく必要があると考えるがどうか。

## みどりの 未来

迫田 敬一



### 高潮ハザードマップ について

**問** 防潮堤が決壊した場合、浸水地域や浸水期間がどうなるのか表記が必要ではないか。

**市長** 令和4年に兵庫県が高潮により相当な損害を生ずる恐れがある海岸の指定を行った際に浸水継続時間も公表したが、本市は既存の浸水区域・浸水深を示すハザードマップに浸水継続時間を反映すると類似情報により混乱を招く恐れがあると判断し公表していなかったが、浸水継続時間も市民の避難に資する情報として重要であるため、今後、兵庫県が公表している内容をホームページに掲載していく。

### ■その他の主な質疑

○新型コロナウイルスに係る予算の事業効果検証等の総括を行うべきと考えるがどうか。

○国に対してPFAS汚染対策に係る要望をして欲しいと思うがどうか。

○学びの多様化学校は、きょうくに子どもの村学園をモデルとした学校にしてほしいと思うがどうか。



## 予算特別委員会

### 令和6年度当初予算及び同予算関連議案等を審査

本市議会では、令和6年度当初予算と同予算関連議案の計17案件を集中的に審査するため、全議員を委員とする予算特別委員会を設置し、委員長に土岐良二委員を選任しました。

審査に当たっては、常任委員会と委員や所管事項が同じ5つの分科会を設置し、各所管部局に関して審査を行うとともに、当初予算案及び当初予算関連議案についての論点整理を行うため、分科員間による協議を行いました。続いて、各会派が総括質疑を行った後、意見表明を行いました。その後の採決の結果、一般会計予算案などの17案件を原案のとおり可決しました。このほか、令和5年度一般会計補正予算(第11号)の審査も併せて行い、原案のとおり可決しました。

### 分科会審査

3月7・8日の2日間に行われた各分科会の審査において、次の事項が重要な論点として全会一致でまとめられ、各論点において、分科員からそれぞれ意見がありました。

#### 総務分科会

**論点** DXの推進及び情報セキュリティの強化について。

**意見** DXの推進にあたっては市民の多様なニーズを的確につかむこと。

専門的なデジタル人材を育成すること。

積極的かつ重点的に取り組むこと。

令和6年度のDX推進に係る取組の成果を議会に報告すること。

**論点** 人権保障と多文化共生の取組の推進について。

**意見** 幅広い世代に対して多様な人権教育に取り組むこと。

**論点** 文化事業を生かしたまちの魅力向上について。

**意見** 桂米朝顕彰事業及び白髪生誕100年記念事業を効

果的に取り組み、本市のイメージアップにつなげること。

**論点** 効果的な広報・広聴について。

**意見** 都市イメージ向上に向けて子育て情報発信サイトの効果的に活用すること。

**論点** 秘書室をはじめとする組織の体制・機能の強化について。

**意見** 国との連携を見据えて事務に取り組むこと。

市長をトップダウンとし、強力にリーダーシップが発揮できるように組織を強化すること。

庁内横断的な組織を推進すること。

**論点** 物価高騰等を踏まえた公契約の在り方について。

**意見** 物価高騰の状況を鑑みて、指定管理や業務委託先等の従事者の賃金が上昇するよう契約や公共調達基本条例を見直すこと。

**論点** 生涯学習プラザにおける地域コミュニティの活性化について。

果的に取り組み、本市のイメージアップにつなげること。

**意見** 一律で地域に予算を配分するのではなく、地域特性に応じた予算を配分し積極的に取り組むこと。



「AMANISM」では「尼崎に住みたい・住み続けたい」と思ってもらえるような情報が発信されています。

#### 文教分科会

**論点** 教員不足の対策及び教員の働き方改革の推進について。

**論点** 庁内横断的な不登校対策の推進について。

**意見** こども青少年局やいくしあなどの関係部局としっかり連携を取ること。

学びの多様化学校の設置も

併せて対応していくこと。

子供の悩みの解決策・支援策を充実させること。

**論点** 老朽化した学校施設及び体育館の空調設備の整備について。

**論点** インクルーシブな教育の推進について。

**意見** 「な」をつけるとあやふやになると思っていること。

**論点** 就学前教育の在り方について。

**意見** インクルーシブの拡大や3年保育を推進すること。

幼稚園における公私間格差を是正すること。

市民との意見交換を十分に行的説明責任を丁寧を果たすこと。



幼稚園における公私間格差の是正が求められています。

健康福祉分科会

**論点** 保育所・児童ホームの待機児童解消・施設整備・保育士確保の推進について。

**意見** 保育環境の改善を行うこと。

保育士の業務負担の軽減を行うこと。  
保育士定着につなげる取組を強化すること。

**論点** 高齢者・障害者（児）支援の強化及び重層的支援の推進について。

**論点** 児童相談所の整備推進といくしあの機能充実及び連携強化について。

**意見** 組織体制を強化すること。

**論点** 妊娠前から出産・子育て期にわたる支援の拡充について。

**意見** 子供の医療費助成のさらなる拡充を行うこと。

18歳までの子供の医療費無償化を早期に実現すること。

**論点** 子供のための権利擁護の取組強化について。

**論点** 動物愛護の支援体制の強化について。

**論点** 民間移管後の南武庫之

荘保育所に対する継続的な指導・監督の強化について。



子どもの育ち支援センター新館(イメージ)  
児童相談所機能を有する子どもの育ち支援センター(いくしあ)新館の整備が予定されています。

経済環境企業分科会

**論点** 物価高騰等の影響を踏まえた、事業者及び市民への経済的支援について。

**意見** 特にGX、DX、ものづくり産業の支援を充実させること。

あま咲きコインについては、物価高騰の影響が継続していることから、しっかりと進めること、また、持続可能で自走できるものにする。

**論点** 脱炭素社会の実現に向

けた着実な取組及び地球温暖化対策の推進について。

**意見** 環境の取組のみではなく、ファミリー世帯の定住・転入にもつながるような施策として取り組むこと。

**論点** 阪神沿線を中心とした観光資源を生かした大阪・関西万博の開催を契機とする観光施策の推進について。

**意見** インバウンドを本市に流入させる取組を検討すること。

観光の取組のみではなく、ファミリー世帯の定住・転入にもつながるような施策として取り組むこと。

**論点** 観光施策の推進とあわせて本市の魅力を発信していくこと。

**論点** 公設地方卸売市場の今後の再整備の在り方について。

**意見** 公募選定については市民の意見を取り入れ、地域の活性化につながるよう進めること。

地域に愛されるというのを主眼に置き、地域の声を踏まえ、丁寧な説明をもって進めること。

**論点** モーターボート競走事

業における収益向上に向けた取組及び公益性の周知について。

**意見** グレードレースの誘致などを積極的に進めること。



あま咲きコインのプレミアムキャンペーンが令和6年(2024年)度も実施されています。

建設消防防災分科会

**論点** 大規模災害に備えた防災・減災の取組について。

**意見** 外国人に向けた災害情報発信方法について検討すること。

**論点** マナー向上に係る取組の強化について。

**意見** 路上喫煙と併せて路上飲酒に対する対策について検討すること。

**論点** 鉄道駅周辺のエリアブランドディングの推進について。

**論点** ファミリー世帯の定住

・転入に資する良好な住環境の整備について。

**意見** 住宅困窮者に対する対策を強化すること。

**論点** 救急体制の充実及び救急車の適正利用の周知並びに消防団員の担い手確保について。

**意見** #7119の活用について検討を行うこと。

**論点** 渋滞緩和と災害時の緊急輸送道路確保に向けた都市基盤整備について。

**論点** 公園及び道路等の整備について。

**意見** バス停周辺の整備を充実させること及び県道については県との調整をしっかりと行うこと。



阪急塚口駅・園田駅では、居心地よく歩きたくなる空間や地域の活性化を目指した駅前整備が進められています。

## 決算特別委員会意見に対する回答

令和5年9月の決算特別委員会における提言に対する市長からの回答は、次のとおりです。なお、議会からの提言については、要約してありますので、詳しくは、議会だより第146号（令和5年12月1日発行）をご覧ください。

### ◆令和6年度予算への提言内容

**【保育施設等や児童ホームの適正な保育量の供給及び質の向上、保育士の確保や市内での就労継続につながる支援】**

**提言** 保育所の待機児童の解消に向けては、市独自の保育士確保策を推進することが必要であり、公立保育所においては、定員に応じた保育士の計画的な確保と配置が必要である。また、保育所・児童ホームの定員拡大について、将来的な少子化や保育等のニーズの推計を踏まえ分析を行ったうえで取り組むとともに、老朽化施設等の環境改善についても計画的に行うべきである。

**回答** 保育士確保策について 保育士確保策の推進に係る令和6年度向けの取組として、潜在保育士や子育て支援員研修の修了者等を保育補助者として配置する場面に必要な経費を補助することで、潜在保育士の再就職支援を図るとともに、保育士の業務負担を軽減し、離職防止を図る事業を実施する。さらに、保育施設への就労希望者等を対象に施設での保育業務の体験を行うことで、実際に園の雰囲気・業務内容等を経験してもらい、就職前の心理的不安の払拭等を図り、就業につなげる。

○公立保育所の保育士確保について

公立保育所における、定員に応じた保育士の計画的な確保と配置については、正規職員や会計年度

任用職員の増員によって、必要な体制を確保する。

○保育所の定員及び老朽化施設への対応について  
今後の保育ニーズの動向を的確に見極めながら、既存施設の活用と軸足を置いた待機児童対策に努めていく。また、老朽化した施設の増改築や大規模改修を行う法人保育園に対して費用の一部を補助するとともに、老朽化の進む公立保育所については、近隣の公共施設等の有効活用の検討など用地の確保に取り組む。

○児童ホームの定員拡大について  
これまでから、学校ごとの児童数の将来推計や経年的な待機児童の状況、近隣の民間児童ホームの入所状況などを勘案する中で、優先順位をつけて公設児童ホームの増設や民間児童ホームの活用などに取り組んでおり、引き続き、教育委員会とも連携を図りながら学校の空き教室の活用や、民間児童ホームの新規事業者の参入促進や安定的な運営の支援等に取り組んでいく。なお、令和6年度より、校舎内の空き教室を活用し、武庫庄児童ホームの定員増（40人）を行う。

**【研修等を通じた教職員の人権意識の醸成及び指導力の向上、安全・安心な学校園づくり、教職員の負担軽減に向けた取組、内部統制の推進】**

**提言** 教職員の資質向上に向けた取組については、時宜に応じた実践的な内容を盛り込んだ研修

を実施し、特に虐待や差別事案の対応に当たっては適切な判断と迅速な対応ができるよう、研修を通じて人権意識の醸成・向上に取り組むべきである。安全・安心な学校園づくりについては、内部統制の強化を図り、学校現場・教育委員会事務局での情報共有と学校間格差の解消に取り組むべきである。教職員の負担軽減に向けた取組については、教職員の時間外在校時間における業務内容の把握を行い、改善策を検討する必要がある。また、部活動指導員の増員のほか、スクールロイヤーの導入などさらなる負担軽減策を実施すべきである。教員の欠員に対しては、県教育委員会とも連携し、対策を強化していくべきである。

**回答** 教職員の資質向上に向けた取組について  
全校園種を対象にした「体罰防止研修」や令和5年度より開始した「コンプライアンス研修」を引き続き行い、教職員のアンガーマネジメントや法令遵守の意識の向上を図る。さらに、人権問題や人権教育に関する認識を深めるための研修において、ヤングケアラー、多文化共生、子ども権利条約、LGBTQ等様々な観点について取り扱い、時宜に応じた実践的な内容を盛り込んだ研修を実施し、人権意識のさらなる醸成を図る。また、教育相談に係る研修を初任者研修において実施するとともに、令和6年度からは新たに虐待対応に係る研修として、関係機関との適切な連携も含めた実践的な研修を実施するなど、児童生徒に関わる様々な課題にも適切に判断し、迅速な対応ができるよう教職員の指導力の向上を図る。

○教員の負担軽減に向けた取組について  
全教職員の時間外在校時間の上限時間内の達成率向上を図るために業務内容の把握を行うとともに、令和6年度からデジタル採点システムを導入し、定期テスト等期間に集中する教員への負担軽減を図る。また、スクールロイヤーの設置や部活動指導員の増員、スクーラーソーシャルワーカーの体制強化など、専門人材を活用することで、教員の負担軽減にも資する取組を進める。

○教員の欠員に対して  
産前産後休暇や育児休業等年度途中で、教員に欠員が生じた場合、児童生徒への授業ができないなどその影響は非常に大きいことから、育児休業等取得する正規教員の代替として任用する臨時講師については、年度当初から年間を通して任用が可能となるよう県教育委員会へ要望していたところ、令和

5年度から年間を通しての任用が可能となった。多様な働き方が進む中、小学校においては勤務時間の短い非常勤職員であっても担任として任用を可能とする、また中学校においては時間講師の任用を可能とするような弾力的な運用や、ペーパーティーチャー講座を市内小学校で県教育委員会と共催で開催するとともに、県内の学校で教員として働きたいという意欲を持った若手教員を確保するためにも、兵庫県教員採用試験においても、筆記免除や大学等の推薦枠などの優遇措置を、近隣他府県並に設けている。欠員解消に向けた改善策については、今後も機を捉えて積極的に要望するなど、県教育委員会と連携して取り組んでいく。

**【本市DXの推進と最適で持続可能な業務執行体制の構築、内部統制の推進】**

○教職員の負担軽減に向けた取組について  
教職員の時間外在校時間の上限時間内の達成率向上を図るために業務内容の把握を行うとともに、令和6年度からデジタル採点システムを導入し、定期テスト等期間に集中する教員への負担軽減を図る。また、スクールロイヤーの設置や部活動指導員の増員、スクーラーソーシャルワーカーの体制強化など、専門人材を活用することで、教員の負担軽減にも資する取組を進める。

○教員の欠員に対して  
産前産後休暇や育児休業等年度途中で、教員に欠員が生じた場合、児童生徒への授業ができないなどその影響は非常に大きいことから、育児休業等取得する正規教員の代替として任用する臨時講師については、年度当初から年間を通して任用が可能となるよう県教育委員会へ要望していたところ、令和

**提言** DXの推進、情報セキュリティ強化及び組織体制の充実に向けては、外部登用のデジタル政策監の指導・助言の下、情報システム関係事務のさらなる見直しと組織体制の再構築、研修等の強化による人材育成など、組織横断的に取組を進めていく必要がある。さらに、行政手続のオンライン申請を起点とした効果的な窓口サービスの在り方について検討を行い、オンライン申請適用業務の拡大を図るとともに、デジタル弱者への配慮をしつつ一層のデジタル化を推進すべきである。また、USBメモリ紛失事案調査委員会からの調査報告書を踏まえた情報セキュリティ強化策の実施を着実に実行すべきである。

**回答** 組織体制の充実について  
自治体DXの一環である自治体情報システムの標準化・共通化を集中的に推進するため、行政マネ

また、同担当課設置に伴い、あまがさき共創DXプランに基づく取り組みを推進する。また、デジタル推進課はDX及びセキュリティ対策を重点的に推進する体制に強化する。また、市長をトップとした「DX推進会議」を設置し、令和5年7月1日付けで外部人材の登用により採用したデジタル政策監とともに、各案件の進捗や課題を全体共有・議論することで、「あまがさき共創DXプラン」に基づき、庁内横断的にDXを推進する。合わせて、階層別研修等を活用してDXを推進できる人材と活用できる人材の両面から、庁内にDX人材を育成する。

○DXの推進について  
DX推進会議において「あまがさき共創DXプラン」を策定し、取り組んでいく施策の方向性を示した。本計画の最大の特徴は、本市の強みである共創文化を活かした、市民、職員のニーズに寄り添ったDXの推進となっており、ニーズを起点として、新たに市政アクトの一元化によるアンケート回答数の増と回答データの活用業務プロセスの見える化と課題抽出による業務改善などの取組を進める。

○情報セキュリティの強化について  
令和5年度に引き続き、個人情報を取り扱う全てのシステムに、第三者の視点による客観性や専門性を確保できる外部監査又は市職員による内部監査を実施するほか、令和6年度は令和5年度に実施した外部監査の視点を情報セキュリティ研修の内容に加える等、研修内容を工夫・改善する。また、本市の情報セキュリティポリシーを令和5年度実施の情報セキュリティ監査結果や国のガイドライン等を考慮し、適宜更新する。

採決結果一覧表（第19回定例会）

区 分	結果	公	日	蒼	ク	議	日	青	み	無	無	無	付託委員会
		明	本	風	市	日	雲	み	(	(	(		
		党	維	会	民	共	の	の	の	光	西	池	
		(12)	(7)	(5)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
議案 第22号 市税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総 務
	議案 第23号 事務分掌条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第24号 行政手続等における情報通信技術の利用に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第25号 市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第26号 地方自治法の改正等に伴う関係条例の整備に関する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第27号 職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第28号 職員の給与に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文 教
	議案 第29号 市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	〃
	議案 第30号 市立健康ふれあい体育館の設置及び管理に関する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
	議案 第31号 介護保険条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	議案 第32号 介護保険条例の一部改正	〃	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	予算特別
	議案 第33号 市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	議案 第34号 暴力団排除条例及び暴力団排除活動支援基金条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災
	議案 第35号 屋外広告物条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第36号 建築物等関係事務手数料条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
	議案 第37号 臨海西部拠点地区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例及びJR塚口駅東地区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災
	議案 第38号 道意町7丁目中地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第39号 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案 第40号 火災予防条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	
議案 第41号 消防関係事務手数料条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別	
議案 第48号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総 務	
議案 第1号 6年度一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	予算特別
	議案 第2号 6年度国民健康保険事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第3号 6年度地方卸売市場事業費予算	〃	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	〃
	議案 第4号 6年度育英事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第5号 6年度公共用地先行取得事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第6号 6年度公害病認定患者救済事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第7号 6年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第8号 6年度介護保険事業費予算	〃	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	〃
	議案 第9号 6年度後期高齢者医療事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第10号 6年度水道事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第11号 6年度工業用水道事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第12号 6年度下水道事業会計予算	〃	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	〃
	議案 第13号 6年度モーターボート競走事業会計予算	〃	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	〃
	議案 第14号 5年度一般会計補正予算（第9号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	委員会付託省略
	議案 第15号 5年度一般会計補正予算（第10号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
	議案 第16号 5年度国民健康保険事業費補正予算（第2号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	議案 第17号 5年度育英事業費補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総 務

区分	結果	公明党	日本維新の会	蒼風会	市民グリーンクラブ	議員日本共産党	青雲の会	みどりの未来	無所属(光本議員)	無所属(西田議員)	無所属(池田議員)	付託委員会
		(12)	(7)	(5)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)	
予算	議案 第18号	5年度公共用地先行取得事業費補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災
	〃 第19号	5年度介護保険事業費補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	〃 第20号	5年度後期高齢者医療事業費補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第21号	5年度モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○	○	×	○	○	○	経済環境企業
	〃 第47号	5年度一般会計補正予算(第11号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
その他の案件	議案 第42号	包括外部監査契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	総務
	〃 第43号	指定管理者の指定(総合老人福祉センター、鶴の巣園、千代木園、福喜園及びワークセンター和楽園)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	〃 第44号	工事請負契約(休日夜間急病診療所新築工事)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第45号	訴えの提起(不当利得返還請求事件)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	経済環境企業
	〃 第46号	訴えの提起(建物明渡し等請求事件)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災
	議員提出議案第1号	市長の専決処分事項の指定についての一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	委員会付託省略
人事案件	議案 第49号	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	委員会付託省略
	〃 第50号	公平委員会委員の選任	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

※陳情第1号及び同第2号については、議案第29号の可決に伴い、みなし不採択となりました。  
 ※会派名の下の( )は会派ごとの所属議員数です。ただし、採決に加わらない議長(公明党)を含みます。

### 議会の動き

(2月1日から3月31日まで)

4日▽▽予算特別委員会

1日▽▽議会運営委員会

〔3月〕

28日▽▽経済環境企業委員会

27日▽▽文教委

26日▽▽総務特別委員会(分科会)

21日▽▽建設消防防災委員会

20日▽▽健康福祉委員会

14日▽▽議会代表者会

9日▽▽議会代表者会

7日▽▽議員研修会

28日▽▽政務活動費の制度検証等特別委員会

22日▽▽議会運営委員会

21日▽▽議会運営委員会

19日▽▽予算特別委員会(総括質疑)

14日▽▽議会運営委員会

13日▽▽議会運営委員会(分科会)

8日▽▽総務特別委員会(分科会)

7日▽▽議会運営委員会(分科会)

6日▽▽議会代表者会(代表質疑)

5日▽▽議会代表者会(代表質疑)

3日▽▽議会運営委員会

## 議員研修会を開催

2月7日に弁護士の太田雅幸氏を講師に招き、「議員のコンプライアンスについて」をテーマに研修会を行いました。

令和3年に政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が改正され、地方公共団体の議会において、ハラスメントの防止に資する研修の実施が求められており、また議員の不祥事が散見されていることから、ハラスメントの防止を含めた議員が守るべきコンプライアンスについて、お話しいただきました。



議員のコンプライアンスについて、判例を踏まえたお話を伺いました。

## 次回定例会の予定

次回定例会は6月の予定です

詳しくは、議事課までお問い合わせください。

市議会の審議の様子は、市議会ホームページでご覧になれます。



## 編集後記

令和6年元日の午後4時10分頃に発生した能登地方を震源とする大規模な地震によりお亡くなりになられた方々や、そのご家族の皆さまに、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

また、現在復旧作業に当たられている皆さまに心から敬意と感謝を申し上げ、1日も早い復興をお祈り致します。

そのような大災害後、初めての本市定例会の場で災害関連の多くの質問や意見が出ました。

今後議会が一丸となり、「他山の石」としてしっかりと本市に役立てていきます。

(T・S)